

No.281



青森県理学療法士会ニュース

新人紹介（中弘南黒・西北五地区）

ときわ会病院 照井理沙

はじめまして。ときわ会病院で働いています照井理沙です。大学は東北文化学園大学（仙台）で、出身は岩手県水沢市です。現在は藤崎町に住んでいます。病院まで車で10分以内で着くことをいいことに、朝8時近くに起きてしまい慌ただしい日々を送っています。

まだまだ慣れないことだらけでドジをたくさんしてしまう毎日ですが、津軽弁を習得しつつ、今後とも自分なりに毎日精一杯頑張っていきたいと思えます。皆様、ご指導ご鞭撻の程よろしく願います。

尾野病院 幡野克仁

はじめまして。4月より尾野病院の方に勤務している幡野と申します。出身は仙台医療技術専門学校ですが、生まれも育ちも五所川原です。性格はかなりのマイペースらしく、学生時代、実習地のバイザーから良くも悪くもマイペースすぎると毎回言われていました。

ちなみに(何が?)、レッドアイが大好きで居酒屋でもそればかり飲んでいますが、家では晩酌はしません。

これから、少しずつ社会人としても理学療法士としても成長していけるよう努力していきますので、今後とも宜しく願います。

黎明郷リハビリテーション病院 中村あゆみ

はじめまして。黎明郷リハビリテーション病院に所属している中村あゆみです。青森県立保健大学を卒業し、4ヶ月が経とうとしています。去年の夏と言えば、実習も終了し卒業論文をやらなければ...と思いながらも、遊びほうけていた夏休みだったなあと思い出しながら、毎夜虫の群れと戦っている毎日です。学生時代、どれだけ自分がぬるま湯に浸かっている状態であったか、今しみじみと実感しています。いろんな土地でみんな

それぞれ頑張っているのだと思い、先輩・患者様方に助けられながら、日々奮闘中です。これからみなさんに御世話になると思えますが、どうぞよろしく願います。

黎明郷リハビリテーション病院 高橋直樹

おはようございます。はじめまして、黎明郷リハビリテーション病院所属の新人、高橋直樹です。出身は青森県六戸町で仙台の大学を卒業し、口八スな生活をすべく、平川市（旧碓ヶ関村）に来ました。碓ヶ関は大自然豊かな、温泉とたけのこの村で、約15年ぶりにホテルを発見し大はしゃぎしております。時々熊も出没するとの噂です。まだまだ右も左も分からず、勉強の毎日で悪戦苦闘しておりますが、良いスタッフ、患者さんに恵まれ充実した日々をすごしています。これから、多方面においてみなさんに御世話になるかと思えますが、よろしく願います。

弘前脳卒中センター 西村 啓

初めまして、弘前脳卒中センターに勤務している西村啓です。出身は青森ですが仙台育ちです。今年、青森県立保健大学を卒業しました。1人暮らしは初めてで、期待していましたが、予想とはまったく違うものでした。炊事・家事の全てが大変で、夕食が「かもめの玉子」の日もありました。今年の目標は、「たまには料理すること」です。公私ともに不安定な生活を送っていますので、皆様に迷惑等かけることがあると思えますが、日々前向きにがんばっていきたくて考えていますのでご指導よろしく願います。

弘前脳卒中センター 中村学人

はじめまして。弘前脳卒中センターの中村学人です。名前の読み方はガクトではなく、タカヒトと読みます。ガクトと呼んでいる人もいますので、そう呼んでもらってもかまいません。この春に青

森県立保健大学を卒業して、4月から弘前で就職させてもらいました。出身は近畿地方にある和歌山県（ほぼ大阪府）です。なぜか和歌山でなく、弘前で就職しました。よくいろいろな方に質問されますが、本人自身意味がわかりません。PTとして日々疑問とぶつかり続けていますが、なぜ青森にいるかも探し続けています。こんな私ですが、先輩方の指導のおかげで、なんとか学生時代とはまったく違う、忙しい日々を乗り越えることができております。今後も切磋琢磨を続け、患者様の気持ちを第一に考えられるPTになりたいと考えておりますので、今後ともよろしく申し上げます。

弘前脳卒中センター 遠嶋和美

弘前脳卒中センターに勤務しております、遠嶋和美（とおしまかずみ）と申します。なかなか聞きなれない名字だと思いますが、覚えていただけたら幸いです。出身はホタテで有名(?)な平内町です。現在、弘前市にて生まれて初めての一人暮らしをしております。美味しいお店情報があり

ましたら連絡お願い致します！

理学療法士として働き始め約3ヶ月経ちましたが、まだまだ仕事に慣れず、汗を掻きながら日々がんばっています。これから皆さんとは長い付き合いになると思います。宜しく申し上げます。

国立病院機構弘前病院 浅野孝弘

初めまして、国立病院機構弘前病院の浅野孝弘と申します。元々出身は北海道ですが、この春茨城県の養成校を卒業し、美味しいりんごを求めて青森県にやって来ました。聞き慣れない津軽弁に戸惑う事も多いですが、こうして理学療法士として日々働ける事に喜びを感じています。忙しくも毎日たくさんの患者さんに触れ、学生時代とは違った充実感があります。でも内心、学生時代のダラダラとした生活を思い出し、時間の大切さを痛感させられる今日この頃です。先輩PTの方々から多くの知識・技術を吸収し、少しでも一人前に近づけるように、精一杯努力してまいりますので、皆さんご指導、宜しく申し上げます。

「 Postural Care Skill Program 障害をもつ子どもと家族のための姿勢ケア 」に参加して

青森県立あすなろ医療療育センター 田澤優子

7月15日（土）～16日（日）の2日間、青森県立保健大学をお借りして「Postural Care Skill Program - 障害をもつ子どもと家族のための姿勢ケア」の研修会を開催しました。今川忠男先生を講師にお迎えする青森子ども療育勉強会の研修会は今年4回目で、私は毎回参加しています。例年は症例検討が中心でしたが、今回は身体計測の実習や講義が中心でした。

私自身、身体に様々な変形や拘縮を有する発達障害をもつ子どもさんたちを担当させていただいており、今回の研修で学んだ内容は、すぐにでも日々の業務に適用したいものばかりでした。特に、評価・測定の重要性を強く感じました。関節可動域は何とか定期的に測定していますが、重篤な変形をもつ人については「前より曲がっている」とか「すごい側弯がある」など主観的な評価に終わっていた場合が多かったことを反省しました。“変形予防”を理学療法目標として掲げるならば、その変形の状況を他の誰もがわかるように記録していかなければ、「よくなった」ことも「悪くなった」こともわからず、どのような介入が最も効果的であったのかを知ることができません。研修は基礎的部分が中心で、私が担当する個別の症例に適用していくには、さらに勉強することが必要だと思うので、『脳性まひ児の24時間姿勢ケア』などを精読していきたいと思っています。そして、障害をもつ子どもさんたちの変形をしっかりと評価・測定し（Measurement）、その発生機序（Mechanism）を理解することで適切な姿勢ケアの方法・対策（Method）を明確にして、家庭や病棟でも実践できるように（Management）していきたいと思っています。

最も印象的だったのは、「子どもたちは理学療法を受けている時間だけ脳性まひ児ではない」という講師の言葉です。子どもたちが普段、最も長い時間を過ごす家庭や学校、病棟で、子どもに接する家族や介助者たちに「これならば私もできる！」と自信をもって実行してもらえる姿勢ケアができるよう努力していきたいと思っています。

- 研修会のご案内 -

平成18年度現職者講習会のお知らせ

学術局長 村上 三四郎
研修部 佐井川 匠秀

恒例となっております、青森県士会担当の現職者講習会を下記の通り開催いたします。会員の皆様のご応募をお待ちしております。

尚、参加を希望される会員は6月末発刊予定の「理学療法学」掲載の「協会ニュースNO.241(6月号)」を参照し、必要事項を記入の上往復ハガキにてお申込み下さい。

- 記 -

PNF法 - 基礎から応用 -

日 時：平成18年9月15日（金）～17日（日）

講 師：高橋 護（医療法人社団 芹沢病院）

会 場：青森県立保健大学

受講費：20,000円（情報交換会費、昼食代を含む）

定 員：20名（先着順）

申込先：〒030-0133 青森市雲谷字山吹93-1

（医）芙蓉会芙蓉会病院 理学療法室

佐井川 匠秀

TEL.017-738-2214 FAX.017-738-2249

E-mail：fuyo-rigaku236@fuyoukai.or.jp

尚、宿泊の斡旋などは行っておりませんのであらかじめご了承下さい。

締 切：平成18年8月11日（金）

尚、この講習会は新人教育プログラム「理学療法の専門領域」及び生涯学習プログラムの単位認定（生涯学習プログラムは2単位）対象となります。

平成18年度特別講習会のお知らせ

学術局長 村上 三四郎
研修部 佐井川 匠秀

上記研修会の日程が決まりましたので、ご案内申し上げます。詳細はニュース・HPに順次掲載いたしますので参加希望者をご確認ください。

テーマ：「関節疾患の理学療法」

日時：平成18年10月21日（土）～22日（日）

講師：石井慎一郎先生（神奈川県立保健福祉大学）

会場：弘前大学医学部保健学科

受講費：3,000円（初日に講師を交えての懇親会も予定しています）

定員：40名（希望者多数の場合は同一施設内の調整をお願いする場合があります）

申込先：村上三四郎（東北メディカル学院 電話0178-61-0606、FAX0178-61-0034）

E-Mail san46@rinken.ac.jp

締切り：平成18年9月22日（金）

各部署通信

【学術局通信】

理学療法研究第24号（2007年3月発行予定）の投稿募集のご案内

理学療法研究第24号（2007年3月発行予定）の原稿を募集しております。投稿をご希望される方は、理学療法研究第23号の投稿規定および執筆要項P59～61をご覧ください。締め切り日までに原稿を下記、投稿先に郵送にてお送りください。なお、投稿原稿の保存メディアについては、校閲後に改めて提出していただきますので、その旨よろしくお願い致します。

- ・ 投稿締切日：2006年9月29日（金）必着
- ・ 投稿先、問い合わせ先：
〒030-5805 青森市浜館字間瀬58-1
青森県立保健大学健康科学部理学療法学科内
青森県理学療法士会学術局 学術編集部 小田桐愛 宛
TEL:017-765-2098 FAX:017-765-2099 E-mail: a_odagiri@auhw.ac.jp

【財務部通信】

17年度会費納入について

次の方は、下記へ振込お願いします（7月20日現在）

岩井 和広 11,000 円のみ

協会費 11,000 円の振込先 振込み手数料 120 円

郵便振替で 口座番号 00130-3-78642

加入者名 社団法人 日本理学療法士協会

通信欄に

記入例 [平成17年度会費 1名分 佐藤洋 8692] 協会会員番号

と記入して下さい。払込人住所氏名は、施設名の住所氏名で結構です。

18年度会費納入について

まだ会費納入をしていない方へ

クレジット付会員証の作製をお願いします。以後、自動にて引き落としされます。

クレジット付会員証の発行が不能の方へ

会費については自動引落しを使用して頂く予定になってはいますが、手続きの開始が6月以降になります。

ダイヤモンドファクターにて自動引き落とし利用の方へ

来年度に向けて、クレジット付会員証の作製をお願いします。

会員証の詳細は協会のホームページにも載っていますので、是非ご覧下さい。

不明な点は 国立青森病院 リハビリテーション科

佐藤 洋

TEL 0172-62-4055(271)

E-mail rehab@aomori.hosp.go.jp

(リハ科全体のアドレスのため、本文中に宛名が必要)

【ニュース編集部通信】

原稿受付に関するお知らせ

中弘南黒・西北五ブロック担当藤田先生宛でのメールアドレスが下記の通り変更となっております。連絡先をお確かめの上、お問い合わせまたは原稿の送付をお願い致します。ご不明な点につきましては、編集部長またはブロック担当者までお問い合わせください。

次回の原稿締切は、平成18年8月22日(火曜日)です。

原稿を依頼された方、もしくは掲載記事をお持ちの方は、次頁の各支部担当にフロッピーディスク、FAX、E-mailのいずれかにて、送付して下さい。

青森県士会ホームページアドレス

<http://www.aa.alpha-net.ne.jp/ptaomori/>

§ ニュース編集部ブロック担当者 §

東青・むつ下北：工藤 寛教（あおもり協立病院）

〒030-0847 青森市東大野2丁目1番地10号 TEL 017-762-5500 FAX017-729-3260
E-mail: celeste_urg1@mail.goo.ne.jp

(電話・FAXは病院、メールアドレスは工藤先生個人のもので、ご注意ください。)

三八・上十三：川口 恵理（シルバー病院）

〒039-1161 八戸市河原木字八太郎山10-444 TEL 0178-28-4000 FAX 0178-20-4962
E-mail: ptsilver4000@sg-silver.or.jp

(リハ科全体のアドレスのため、本文中に宛名が必要)

中弘南黒・西北五：藤田 俊文（弘前大学医学部保健学科理学療法学専攻）

〒036-8564 青森県弘前市本町66-1 Tel 0172-39-5981 (直通&Fax 兼用)
E-mail: pttoshi@cc.hirosaki-u.ac.jp

事務局ニュース編集部長：梅村 孝博（東北メディカル学院）

〒039-1522 五戸町字苗代沢3-6 TEL 0178-61-0606 FAX 0178-61-0034
E-mail: pt.umemura@rinken.ac.jp

編集委員：伴 久美子（黒石病院）

工藤 寛教（あおもり協立病院）

藤田 俊文（弘前大学）

川口 恵理（シルバー病院）

豊嶋 大輔（八戸城北病院）

加藤 義人（なかざわスポーツクリニック）

久保 稔（南郷メディエルデプラザ）

外交局広報部（HP担当）：安田 友久（青森労災病院）

編集後記

ニュース編集部長を務めております梅村です。また、今年には八戸で行われます第24回東北理学療法士学会の準備委員長を務めることになり、伊藤学会長の下で学会準備の方を進めています。先月11日で演題募集の方締め切りまして、一時は演題数が非常に少なく、学会長はじめ、県士会理事の方々にも非常にご心配をおかけしました。お蔭様でなんとか50題以上の演題が集まる事が出来ました。これはひとえに学会長はじめ、士会理事の方々、また県士会の会員のご協力があったの事と大変感謝しています。ありがとうございました。学会開催まであと3ヵ月後と迫っておりますが、盛大な学会になりますようこれからも準備のほう進めていきたいと思っています。今後もご協力の程よろしく願い致します。(文責：梅村)

奥付

編集；青森県理学療法士会

発行；PT事務局・ときわ会病院リハビリテーション科内

〒038-1216 南津軽郡藤崎町榊字亀田2-1

PHONE・FAX 0172-65-3698

E-mail ; ptaomori@m16.alpha-net.ne.jp